

共通インフラ検討WG

国土交通省航空局

共通インフラに関する今後の検討事項

- 今年度までの検討成果や実証実験結果等を踏まえ、共通インフラWGでは今後以下の事項について検討を進める。

1. レベル4相当の実現に向けた共通インフラ整備ニーズ整理

- これまでに挙げられた共通インフラの優先度・必要時期検討
- その他、必要性の高い共通インフラの検討

2. 整備ニーズの高い共通インフラの仕様共通化に向けた実証・検討

- 実証実験等を通じた有効性検証
- 作成基準、性能要件、設置基準の検討

3. 共通インフラガイダンスの作成

- インフラ整備の考え方や設計・設置等にあたっての留意事項を整理
- 2025年中の自動運転L4導入に向け、2024年までに作成

※整備・運用方法等については、当面個別に事業者と空港管理者で協議の上決定することを想定。次年度以降、共通インフラWG等において具体的な議論を進める。

各インフラに関する検討の進め方(案)

インフラ	検討状況(21年度時点)			今後の検討事項
	ニーズ整理	実証・検討	ガイダンス	
3Dマップ				<ul style="list-style-type: none"> 20年度に羽田空港において試作および自動運転開発事業者へのヒアリングを実施。また、一部事業者においては当該データを用いて自動走行実証実験を実施。 今後、各社における検証も踏まえ仕様の共通化をはかるとともに、整備・運用方法についての検討を進める。
磁気マーカ				<ul style="list-style-type: none"> 20年度に羽田空港において敷設し、一部事業者においてはこれを活用した自動走行実証実験を実施。 今後、空港内におけるGSE車両走行軌跡調査等の結果を踏まえ、性能要件や設置方法等に関する検討を進める。
通信インフラ				<ul style="list-style-type: none"> 19年度のWGにおいて自動走行に向けた課題の対応策として整理。 今後、実証実験の結果等を踏まえ整備方法等の検討を進める。
充電インフラ				<ul style="list-style-type: none"> 19年度のWGにおいて自動走行に向けた課題の対応策として整理。 航空局において別途検討されている内容を踏まえ、今後の対応方針を整理する。
空港共通FMS				<ul style="list-style-type: none"> 21年度のWGにおいて一部事業者より必要性が提起。 今後ニーズを精査するとともに、求められる機能や必要時期(段階的な高度化も含む)を検討し、整備にあたっての考え方を整理する。
監視カメラ・センサ				<ul style="list-style-type: none"> 21年度のWGにおいて一部事業者より必要性が提起。 今後ニーズを精査するとともに、設置場所・設置方法やデータの提供・共有方法等を検討し、整備にあたっての考え方を整理する。 ※空港内の各種規制にしたがって設置場所・方法を検討する必要
信号機／仮想信号機				<ul style="list-style-type: none"> 21年度のWGにおいて一部事業者より必要性が提起。 今後ニーズを精査するとともに、空港内の環境に適した技術方式や設置方法等を検討し、整備にあたっての考え方を整理する。 ※空港内の各種規制にしたがって設置場所・方法を検討する必要